

授業科目 保健医療ソーシャルワーク論

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会
村上信		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 現代社会における保健医療ソーシャルワークの理念と意義、患者とその家族が直面している問題状況やニーズとそれに対応する保健医療ソーシャルワークの方法と課題について学ぶ。特に、保健・医療・福祉の連携と総合化の動向の中で、保健・医療・福祉のサービスを総合する要の役割を担う保健医療ソーシャルワークの専門性やチームワーク、ネットワーク機能について考えるとともに、保健医療の諸制度の仕組みや保健医療政策の動向についても学ぶ。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. 保健医療サービスの理念や医療ソーシャルワークの基本について理解する。 2. 医療保障制度（診療報酬に関する内容を含む）の理解と共に医療ソーシャルワーカーの業務と援助の展開過程について理解する。 3. 保健医療サービスの概要と保健医療サービスにおける他職種協働について理解する。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション				
2	現代の医療と福祉の諸問題				
3	医療ソーシャルワークとは何か－医療ソーシャルワークの発展				
4	医療ソーシャルワークの援助対象である「生活者としての患者」の理解				
5	医療と福祉に関わる社会資源とサービス供給体制				
6	医療保障と医療保険制度－医療保険制度の概要、医療費に関する政策動向				
7	医療保障と医療保険制度－診療報酬制度の概要				
8	専門職の役割と実際－医師の役割、インフォームドコンセントの意義				
9	専門職の役割と実際－看護師・保健師・理学療法士等の役割				
10	医療ソーシャルワークの役割－医療ソーシャルワーカー業務指針				
11	医療ソーシャルワークの方法と展開過程				
12	医療ソーシャルワークの価値と倫理				
13	医療と福祉の連携－医療機関内連携（チームアプローチ）と地域連携				
14	事例研究－病院・セルフヘルプグループ・地域連携				
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）		医療ソーシャルワークの理論と実際		見洋書房	
参考書		図説国民衛生の動向		厚生統計協会	
その他の資料		必要に応じてプリントを配布する。			
【評価方法】 出席状況とレポート及び定期試験			【履修上の留意点】		